

こうみょう

第29号

この如来は光明なり。光明は智慧なり。

智慧はひかりのかたちなり。

親鸞聖人著作『一念多念文意』

春になりました。少し心も晴れやかな気持ちになります。

マスクの着用については、厚生労働省よりお知らせがありました。令和5年3月13日以降、マスクの着用は、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断が基本」となりました。

その発表に基づき、私住職は、基本的にはマスクを着用いたしません。また、お寺の中でも、ご参詣の皆さまのマスクの着用については、それぞれのご判断にお任せいたします。

つまり、お寺にお越しいただく様々な行事について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前に戻したいと考えております。

5月14日の永代経についても、5月8日より新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行されることにより、午前と午後の二座に分けていた法要を、一座法要に戻します。

お齋については控えますが、お持ち帰り用に用意するお弁当を2階の客間で召し上がっていただくことができるようにいたします。もちろん、ご希望によって、ということですが、飲み物もご用意したいと思います。

少しずつ注意しながら、お寺という場を回復してまいります。

第29号

2023年4月1日発行

発行責任者

〒135-0013

東京都江東区千田9-7

真宗大谷派 光明寺

住職 小林尚樹

電話：03-3644-3043

ホームページ：

<http://koumyouji-fukagawa.or.jp/>



東本願寺真宗会館（練馬）の桜

第16回終活セミナー報告

2023年2月18日(土)、第16回目となる「終活セミナー」を開催いたしました。

参加者は、お寺に11名、インターネットで11名の方々にご参加いただきました。

今回のテーマは「自分史を作ってみて気付くこと ～人生の物語を紡ぐ～」とし、自分史活用アドバイザーである、(株)グローバルケア(中央区の葬儀社)の一言奈津江(ひとこと なつえ)さんにお越しいただきました。



お寺は、真実(まこと)の(ものがたり)が語られ、そして、一人ひとりの(ものがたり)を紡いでいける場所です。

お経には(ものがたり)が説かれています。それは誰の(ものがたり)でしょうか。そんな話をさせていただきました。

一言さんのお話は、ご自身の経験から、ブログを書き始めたことがきっかけで自分史を作成され、そのことから得られたたくさん

のメリットについてお話されました。メリットも具体的なお話でしたが、何より一言さんの笑顔を見ていると、自分史を作ることがとても楽しいことに思えて、それがよく伝わってきました。

今回も多くの方々よりアンケートにご協力いただきましたので、ご紹介いたします。

◆参加の動機を教えてください

- ・自分史について学んでみたかった
- ・ものがたりというテーマの内容に興味を持ったから

はじめに住職より、(ものがたり)を生きる、というお話をさせていただきました。すべての人は誰とも代わることでできない(ものがたり)を生きています。

- ・5回目の参加です。最初は両親のためにと
- ・思ってた参加していた部分が大きかったです
- ・ですが、今は自分のためにが大きいです
- ・いろいろな教えてもらえるから

◆新たな発見や気づきがありましたか

- ・エンディングノートではなく、自分史ということ。何気ないテレビとかの話から親に聞く方法。親の気持ちをききかけを知ることができてよかったです

・お寺に集う事は癒しになる

・自分で準備した方が、残された子どもたちに負担がかからないので作ってみようと思いました

◆これから実践しようと思っている「終活」があれば教えてください

- ・まずは、自分のエンディングノートと自分史を書いてみようと思います
- ・死後の事務的な手続き
- ・デジタル遺品の整理

◆感想やご意見があれば教えてください

- ・地域の皆様にとつて、いのちを考える場がある事の素晴らしさを感じました。ありがとうございました

◆聞いてみたいテーマは？

- 1位 医療や介護(在宅の問題を含む)
- 2位 生前整理と遺品整理
- 3位 相続と遺言 同数で死後事務委任

在宅医療・介護は1年前に取り上げましたので、**次回は「生前整理」**をテーマに開催いたします。お楽しみに！

彼岸会合同法要 勤修

2023年3月21日(祝日・彼岸お中日)、初めての試みとなります。「彼岸会合同法要」をお勤めいたしました。

光明寺には境内墓地が無いため、お彼岸にお寺にお参りに来る方は少なく、多くは自宅のお内仏に参らせていただいております。それはとても大事なこととして続けていきたいと思っておりますが、お寺にお参りに来る機会を増やしたいと思っております。今回10件のご縁がありました。今まで彼岸参りにご縁の無かった方が多かったです。春と秋、今後も続けていきたいと思っております。法話は「仏教の終活」、何度もお話ししますが、亡き方(諸仏・善知識)に人生を尋ねるお彼岸にお話ししたかったことです。本堂内の桜が満開でした!



東京大空襲追弔法要

3月10日は、東京大空襲により亡くなった方々の祥月命日ですので、お寺の玄関横にある「世溘多観音(せうんだかんのん)」前にて、14時より追弔法要をお勤めいたしました。

この観音様は、戦災の慰霊観音として地域の方より千田町会へ寄進されたと聞いております。今は、お寺で管理しております。戦争を必要としない世界を願っております。



東日本大震災追弔法要

3月11日14時46分、東日本大震災追弔法要「勿忘の鐘(わすれなのかね)」をお勤めいたしました。

この日は、WBCで佐々木朗希投手が投げる日でした。彼は陸前高田で被災し、父と祖父母を亡くされていますが、毎年この日にはメディアを通してメッセージを発信されています。忘れることなく前を向いて生きてゆくと。



光明廟での彼岸参り

お彼岸の最終日、合葬墓「光明廟」にお参りに行き、「嘆仏偈」をあげてまいりました。

お彼岸期間中はタイマーで10時から16時まで5分間隔で水が流れるようになっていたのですが、なぜか、ポタポタ垂れる程度しか出ていませんでした。お盆の時はきちんと設定します!



ご葬儀について

大切なご家族がお亡くなりになり、悲しみの中、ご葬儀の依頼をしなくてはなりません。住職より、注意点をお伝えいたします。

- ① まずはお寺へご連絡ください。できることなら亡くなる前に。葬儀社や経済的負担が小さくなるやり方などご相談いたします。
- ② お寺での葬儀は別途会場費をいただきますが、祭壇が不要のため結果的に負担は小さいです。
- ③ 儀式は枕勤めに始まり、通夜式・葬儀式・還骨勤行(一緒に繰り上げ初七日)と、省略することなくお勤めいたしましょう。
- ④ 「一日葬」という儀式はありません。やむをえず通夜式を行わない「葬儀式」です。

花まつり法要

お釈迦さまは4月8日にお生まれになつたと、日本には伝わっています。

お釈迦さまのご誕生と親鸞聖人のご誕生、そして新たな仏弟子の誕生をご縁に、法要をお勤めいたします。

ぜひお参りください。

日時：4月8日（土）14時より

法話：光明寺住職（全体で60分ほど）

参加費：無料

永代経法要

亡き方を憶うことをご縁として、今を生きる私たちが教えに出遇う法要です。

ぜひ、ご参詣ください。

※「ご希望の方はお寺へご連絡ください。」

日時：5月14日（日曜日）午後1時

日程：法要・法話（全体で90分ほど）

法話：光明寺住職

参加費：お志

※お弁当をお持ち帰り

いただけます。



写教の会

教えの言葉を書き写す「写教」の会です。

開催日：4月19日・5月17日・6月21日

水曜日の14時～17時まで開けていますので、出入り自由です。

参加費：無料

「正信偈」を書写しますので、筆ペン又は書道道具をご持参ください。

光明寺同朋の会（法話の会）

親鸞聖人のお弟子さんが書き記された『歎異抄』とはどのような教えなのでしょう。少しずつですが、学んでまいります。

開催日：4月22日・5月20日・6月24日

土曜日の14時～16時まで

法話：光明寺住職

参加費：500円（テキスト代別250円）

Zoom：会議ID:953 5707 6868

パスワード:684089

※Zoomを利用することにより、今まで通り

お寺で参加する場合と、自宅からインターネットを利用しての参加が可能になりました。詳細はお問い合わせください。

第17回終活セミナー

「終活」とは、やがて終わりを迎える私の人生に向き合い、心配なことを整理し、今ののちを安心して生きて往くための活動です。お寺で、一緒に考えましょう。

開催日：6月10日（土）14時～16時

テーマ：「終活としての生前整理」

「物の片づけは、心の片づけ」

講師：（株）ワンズライフ

代表取締役 上野貴子さん

参加費：無料

上野貴子（うわのたかこ）さんプロフィール
遺品整理士、遺品査定士。（一社）終活カウンセラー協会認定終活講師。遺品整理・生前整理を終活の一つとして社会に広く認知する活動や行政との協力で積極的な取り組みが評価され、家財整理のプロとして「あさイチ」をはじめ多くのメディアに取り上げられている。最近では、松本明子さんの『実家じまい終わらせました！』に松本さんとの対談が掲載されている。

※お寺では三密を避け、除菌・消毒などの対策をいたしますが、お一人お一人におかれましては、体調には十分ご留意いただき、無理をせずにお出かけください。